

■新世代通信網パイロットモデル事業（京阪奈）

1994年（平成6年）

この事業の目的は、FTTHによるマルチメディア実証実験を行い、実験データ収集と通信と放送の融合に関する課題を抽出・検討をするとともに、実証データを提供し、当時の郵政省などの国の機関による政策立案に資することです。

システム構成は、PDSのa方式と、ADS（Active Double Star）のb方式があります。a方式は、スターカプラを用い、1.3 μ m波長を用いたTDMA（時分割多重）制御による双方向通信（INS64/1500相当）と、1.5 μ m波長を用いた周波数多重化した下りの映像信号（CATVサービス：地元有線放送）とを波長多重した構成をとっています。b方式では、ビデオオンデマンド(VOD)サービスも提供しています。

実験は、一般財団法人マルチメディア振興センター（FMMC）の主管により1994年から2000年まで行われました。

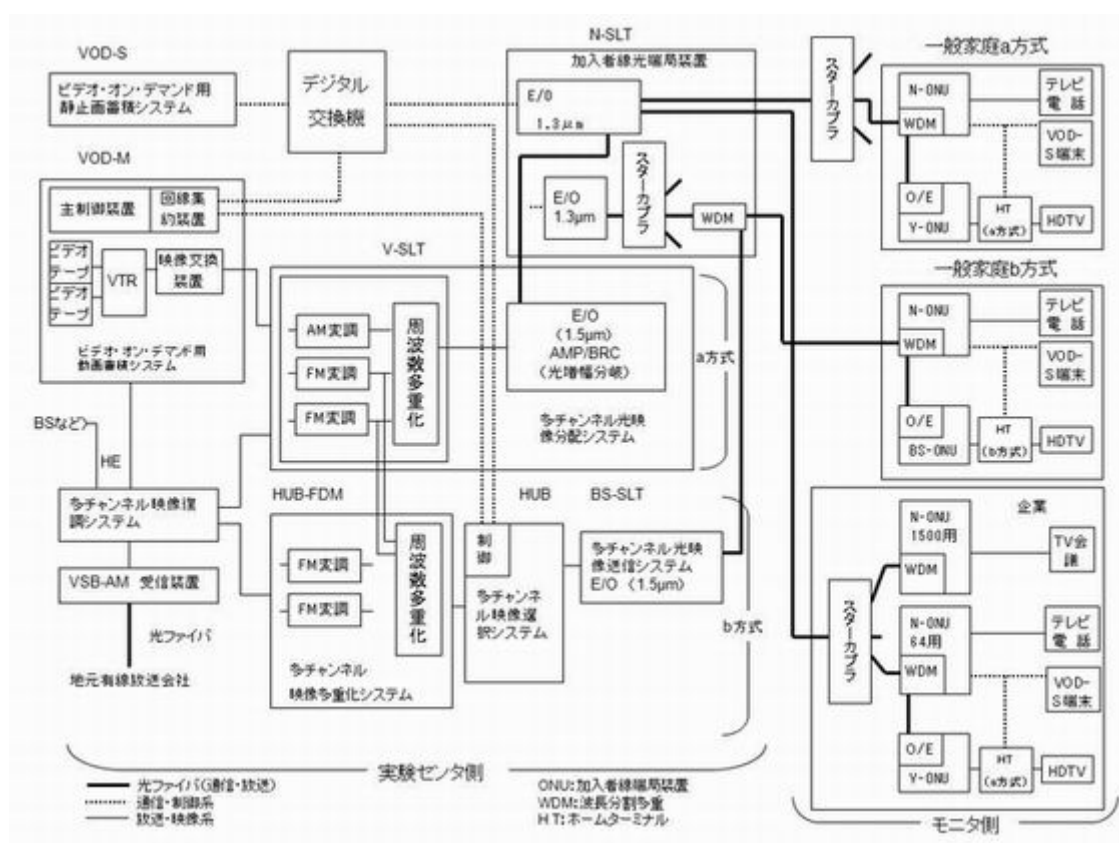


図 システム全体構成図